

自作教具の活用事例

<p>【作品名】</p> <p style="text-align: center;">ゆび九九</p>	<p>【学校名】</p> <p style="text-align: center;">日立市立豊浦小学校</p>
<p>【活用できる領域・教科等】</p> <p style="text-align: center;">2年算数 : かけ算</p>	<p>【制作者名】</p> <p style="text-align: center;">黒田 幸江</p>
<p>【制作の意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ かけ算九九を覚えるのは大変である。特に苦手意識のある児童にとっては、負担ばかり感じて意欲につながらないことも多い。2の段、5の段等、数の少ない場合はよいが、数が大きくなると難しくなってくる。そこで、指を使えば覚えなくても9の段が分かる方法を伝えたい。一つの段をクリアすることで、数の大きな他の段を覚えようとする意欲にもつながると考える。 	<p>【使用方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の両手を出す。 ・ 1番目から9番目までの指を確認する。 ・ 1番目から順に指を折ると、左には十の位の数が、右には1の位の数が見える。 ・ かけ算の答えを探したり（9×4の答えを見つけたときは、両手を出して4番目の指を折れば左には3本で30、右には6本で6、なので36）、指を見ながら9の段の九九を唱えたりする。
<p>【制作上の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めは、何番目かを意識させるために、爪に番号を書いて練習させる。 ・ 見方が分かったら、番号は書かなくても答えが分かるようになるので、九九として唱えることができるように練習させる。 	<p>【見取り図】</p> <p style="text-align: center;"> $9 \times 1 = 9$ $9 \times 2 = 18$ $9 \times 3 = 27$ $9 \times 4 = 36$ $9 \times 5 = 45$ $9 \times 6 = 54$ $9 \times 7 = 63$ $9 \times 8 = 72$ $9 \times 9 = 81$ つめに書く </p>
<p>【写真】</p>	<p>【使用効果と応用発展】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「おもしろい」と言って練習し、9の段はできると自信をもった。 ・ 指の動きがよくなって、他の活動もよくできるようになった。
<p>【材料・材質・部品等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の指、水性ペン 	